

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 公益財団法人熊本県立劇場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営となっている。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について、規程とマニュアルがあり、明文化されている。 ・差別やハラスメントに関する相談窓口を設置し、報告があれば直ちに委員会で検討し、対応を行う準備がある。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・衛生推進者を任命し、作業環境の点検、報告を行っている。 ・安全管理マニュアル、危機管理マニュアルを整備している。 ・主催者と事前打ち合わせを行い、緊急事態における対応措置に努めている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・職員(正規、契約、嘱託、臨時、派遣)の公正な待遇を行っている。 ・従前の人事考課制度(平成15年施行)を改訂し、令和2年度から「人事評価制度」を導入、公正な評価を行っている。					5.5				8.5	10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底を行っている。 ・有給休暇などの取得奨励を実施し、災害ボランティア活動には特別休暇を付与し積極的参画の環境を整えている。			3		5.5				8.5 8.8	10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・毎年、法人内で職員研修を計画的に実施している。 ・必要経費を支給し、外部研修の受講の機会を設けている。				4	5.5				8	9							
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・こころの健康づくりに留意し、メンタルヘルス研修を行うほか、必要があれば外部の専門家によるセルフケアを行っている。			3						8							17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進、昇格等に人種、性別等の違いによる差別的待遇はない。 ・定年後再雇用制度を設けている。				4.4	5.1 5.5				8.5	10.2 10.3					16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・時差出勤、在宅勤務(テレワーク等)を導入し、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 ・機器や回線環境を整備し、感染症対策としてウェブ会議等を推進している。 ・無観客や配信事業のために、ホールの部分的な貸し出しを行っている。			3						8	9.1		11	12				
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・施設利用等の申請をメールで行えるように電子申請の仕組みを導入している。 ・PCやモバイルWi-Fiルーター等のIT投資により、職員が在宅勤務(テレワーク等)を行えるように整備した。									8	9.1		11	12				
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 公益財団法人熊本県立劇場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・県に認可を受けた産廃業者と契約し、廃棄物等に関して適切な管理及び処理を行う体制をとっている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力、水道、ガス等の使用量はすべて表にまとめて把握したうえで、その削減に取り組んでいる。 ・照明のLED化を推進している。 ・クールビズ、ウォームビズを取り入れ、事務所内の温度を夏期28℃、冬期20℃に設定している。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・毎年熊本県へ調書(省エネ・省資源調書、電気及び都市ガス使用量確認調書)で報告する際に、内容を把握し、排出抑制に取り組んでいる。 ・照明のLED化を推進している。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・敷地内の多数の樹木や植栽を管理することで、生物の息息、生育地の維持に配慮している。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・ペーパーレス化、裏紙や使用済み封筒の利用を促進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・市水と地下水を使い分けている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・グリーン調達について、環境負荷ができるだけ小さいものを購入するよう努めている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・敷地内の多数の樹木や植栽の保全、管理を行っている。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・公用自転車を導入し、環境に配慮した交通手段を推進している。										9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・熊本県が目標に掲げる「2050年県内CO2排出実質ゼロ」に照らし合わせて、当財団で実施可能な施策について検討している。 ・来館者に対して公共交通機関の利用促進や駐車場内でのアイドリングストップを呼びかけている。 ・【予定】照明のLEDなど省エネ機器等を導入する(令和4年12月)。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2		

